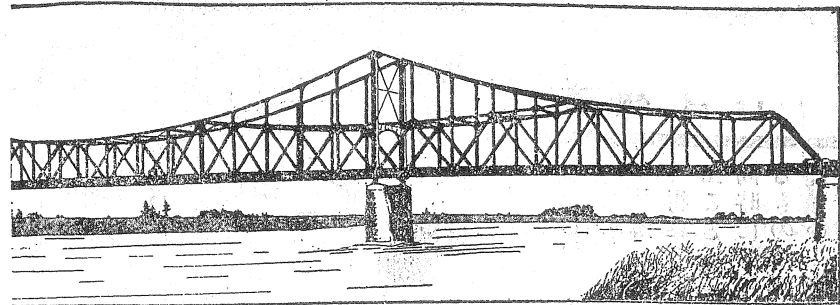




文部時報

第五百五十四號 目次

口繪 (昭和十一年七月一日現在文部省職員)

卷頭 (明治天皇御製三首)

地方長官會議及に於ける訓示

文部大臣 平生釵三郎

小學理科書の取扱方に就いて

圖書監修官 桑木來吉

邦樂科設置に就いて

東京音樂學校長 乘杉嘉壽

日本犬

史蹟名勝天然紀念物委員會委員
東京帝國大學教授 理學博士

鏑木外岐雄

最近の獨逸に於ける青年運動(一)

海軍中將 伍堂卓雄

第十一回オリムピック大會

文部省體育課 田村森次

復命書

文部省視學委員復命書抄

數學

文部省視學委員 廣島高等師範學校教授 前田文友

農山漁村に於ける學校の實際

農村學校經營上の考慮と實際狀況の一端

愛媛縣東宇和郡特江尋常高等小學校長 高岡道

資料

文部省沿革略(九)

文部大臣官房文書課

勅令

勅令第百十號(地方學校衛生職員制中改正)

五七

省令

文部省令第十一號(東京音樂學校規程中改正)

五七

訓令

文部省訓令第二十一號(地方測候所職員定員別表中改正)・同第二十二號(學校衛生技師定員中改正)

五八

告示

文部省告示第二百四十九號(佐賀縣立進德學校教科少年教護法ニ依リ承認)・同第二百五十號(國寶所有者變更)

五八

敘任及辭令(自昭和十一年六月十一日至同六月二十日公表ノ分等)

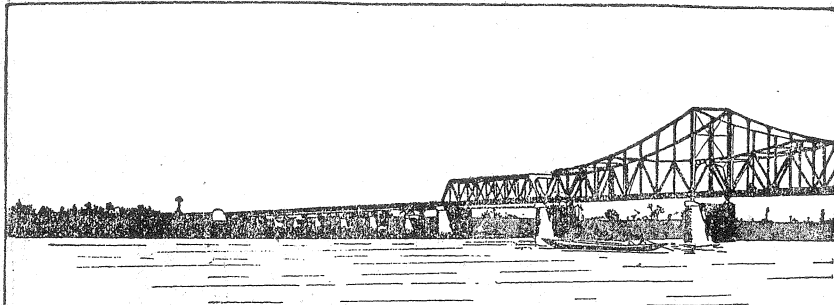
五八

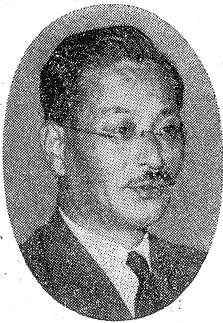
彙報

帝國學士院授賞式——地方長官會議——勤勞者教育協議會——講師解囑——金屬材料講習生募集——精密機械工學講習員募集——學位授與認可——第六十四回師範學校中學校高等女學校教員試驗檢定本試驗日時並受験者注意——檢定教科用圖書——東京科學博物館開館日數等——圖書推薦——圖書認定——蓄音機「レコード」推薦——淨土宗西山深草派宗制中改正等——曹洞宗宗法曹洞宗務所法改正等——曹洞宗宗令曹洞宗尼教師分限稱號令中改正——顯本法華宗宗憲附則管長選舉法等中改正——時宗宗規宗議會議員選定規則等中改正——管長事務取扱就職——法人設立許可——休職——休職期間變更——退職——休職満期免職——死去

文教問答

六六
七九





日本犬

文部省嘱託
東京帝國大學教授

理學博士 鏑木 外岐雄

凡そ家犬の祖先が一源的であるか、或は多源的であるか、また馴され易いジャカルであるか、或はシエフアードをつくりの狼であるか、それは今のところ知る術もないが、犬は瞳孔が圓くて四十二枚の齒を有つカニス屬の種類から胚胎せるものであることは想像に難くない。併し家犬の祖先はスフインクスの謎として遺された大きな問題ではある。その犬は人間が獲得した家畜のうちで最も古いもので、デンマークの貝塚から犬が唯一の家畜として立證されてゐるが、その貝塚はどう見ても石器時代に屬するものと云はれる。又それよりはかなり新しいものである。瑞西の水邊杙工生活の遺蹟から豚、馬、山羊、羊、牛の有用家畜の遺骨と共に家犬の立派な頭蓋骨等が発見されてゐるが、犬は食用としてよりは寧ろ家畜の群を警護するがために飼はれたものと看做されてゐる。我が國でも北海道、陸前、下總、武藏、相模、越後、越中、遠江、備中、筑後、肥後、薩摩その他諸國の

貝塚から石器時代の家犬の遺骨がかなり發掘されてゐる。

その古代の日本犬は普通立耳に卷尾か差尾といふことになつてゐるが、その耳が果して立つてゐたか、或は垂れてゐたか、即ち筋肉の發達によつて動かすことが出来る立耳であつたか、或は筋肉の退化による垂耳であつたか。それは古代の犬の木乃伊でもあればよく解る譯であるが、石器時代の多くの犬の骨格からは判定し兼ねるところであつて、今のところこの關係を親ふに足る最適の資料と認められるのは貝塚や穴居時代の遺蹟から掘り出される土偶である。今縄紋土器や彌生式土器と共に發掘された犬を型どつた土偶を見ると、その總てが立耳の姿を有つてゐる。又稍々文化が進んだ青銅時代や有史上代の遺物で祝瓮土器や銅鐸に現はれる文様竝に埴輪の犬を見ても立耳に卷尾か差尾であり、更に藤原時代の鳥羽僧正の筆に成るといふ高山寺繪卷や信貴山縁起等の當時の風俗世態を寫したものに現はれ

る犬や額安寺所藏の犬をモデルにしたといふ文殊の獅子も立派な立耳なのである。而して垂耳の犬が現はれ初めたのは鎌倉時代からのやうで、それから足利時代にかけて現はれた草紙や繪卷等の作品にばつばつ垂耳の犬が畫かれてゐる。して見ると、我が國古代の犬は立耳に巻尾か差尾の差尾であつたといふのが異存のないところと云ふべきであらう。

かやうな立耳に巻尾か差尾の特性を有つ古代の犬も、明治の初め以來僅か四十年位の間に著しく舶來の色々な犬と混血を來し、又旺んに撲殺されたがために殆ど絶滅に瀕し、一時は正直爺さんのボチや桃太郎のお供する犬の教材にすら苦しみほど慘な状態に立ち至つたやうな次第で、それは識者の均しく愛惜措く能はざるところであつたのである。併し秋田犬が天然紀念物に指定された昭和六年の頃から日本犬が素晴らしい人氣を博し、日本犬熱は國粹情緒への還元で、日本精神の眞認識の叫びに應



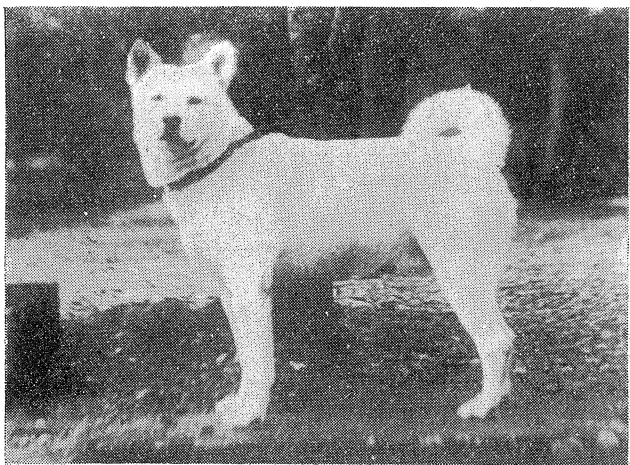
じて、いやが上にもあふられ、犬を飼ふなら日本犬と云つて、日本犬が吾犬界の花形となり、各地に日本犬愛護の會が恰かも雨後の筍のやうに組織されるに至つた譯である。

前に述べたやうに、犬はその由來が極めて古いだけに色々な血がまざり、又その形質が變り易いがためにその體型は多様で、既に我が國石器時代の家犬にも色々な體型が識別されるのであつて、況んや今に遺存せる日本犬がどんな系統に屬するか、又どう分類せらるべきかは肝要な問題でありながら容易に解決し得らるべきところではない。嘗て故渡瀬庄三郎博士は本州、四國、九州に産する日本犬には少くとも最北、中北、南方

産する犬に類縁の密なるものもあり、又樺太犬との血縁を想はしめるやうなものもある。従つて吾々は日本犬を保存顯彰するに當り便宜上少數の一脈相通する代表的犬型を定めて指定の對象とする外

なく、昭和六年には秋田犬、同八年には甲斐犬、又同九年には紀州犬と越の犬とが天然紀念物に指定され、將來指定されんとするものにはアイヌ犬、柴犬、土佐犬が擧げられる。

日本犬には太り肉の猪犬型と瘠せぎすの鹿犬型とがあり、その體型も前述のやうにかなりまちまちであるが、雌は雄よりも體軀が稍々長い。一般に優良な犬では體軀がきりつと緊り、何となく素朴な感を與へ、悍威に富み、落つきのうちにも敏感で舉動が敏捷であり、また歩き工合も洵に輕快で彈力を有つてゐる。額は犬型によつて多少異なるが、稍々扁平で鼻梁へ移行く部分がなだらかなものと凹んでゐるもの、又頬が大きく張つてゐるものと然らざるものとが



ある。鼻梁は眞直で、鼻鏡や唇がよく引緊り、齒牙の噛み合せの正しいのが良い譯で、鼻鏡は普通黒いが、白犬では往々紫色又は淡紅色を帯びてゐる。一體頭蓋骨や吻部は變り易いもので、狼やジャカールの頭蓋骨を縛つて置くと暫くの間に見違へるほど變るさうであるが、顔面骨の短縮化は色々な家畜にも起り、柴

紀州犬

犬特に狎に於て顯著なものがある。吻部の函形は、遺傳性が強いと云ふ下顎の出過ぎてゐるものや後退してゐるものと共に好ましくあらざるところと云はれる。耳には先端尖れるもの、稍々圓味を帯びるもの、長味のもの等色々あるが、昔から「恥目か耳か」と云つて一般にいかにも小さい耳を貴ぶが、薄味で先端が尖り頭頂に高く稍々前方に傾いてきりつと立ついはゆる神樂耳を理想とし、大きくて頭側に開いて立ついはゆる簪耳は鈍相としてよるこばれない。眼は心の窓といふほど大切なもので、昔から目あひの延びたる犬は鈍感で突込み

が悪く、目あひの適度に近いものがよいと云はれる。而してその形は精神状態によつて違ふが、平靜なときに稍々三角形を呈し外皆が上つてゐるものを理想とするのである。虹彩は濃茶褐色を基本色とするが、毛色に應じて異り、白犬では普通淡色で、虹彩色が黄味を帯びてきらきらする犬は痢癖が高いやうである。頸は遅しく、胸は厚くて張り、背筋が真直で、肩胛がよく發達して適當に傾斜し、又腰が強勁なるを理想とする。のみならず前肢は真直にして遅しく、後肢の大腿部がよく發達し、飛節が強靱で彈撥力に富み、四肢の踏張の強いのがよいと看做される。趾は兎足よりも猫足を貴び、爪が揃つて黒いものや趾裏が黒いものは極めて妙い。紀州犬には俗に岩懸とか水かきとか云ふ單爪や重爪の距を有つものが多いが、それは屢々他の犬にも現はれるところで、その有無は價値の輕重をなす譯のものではない。尾もまたその姿によつて精神状態が異



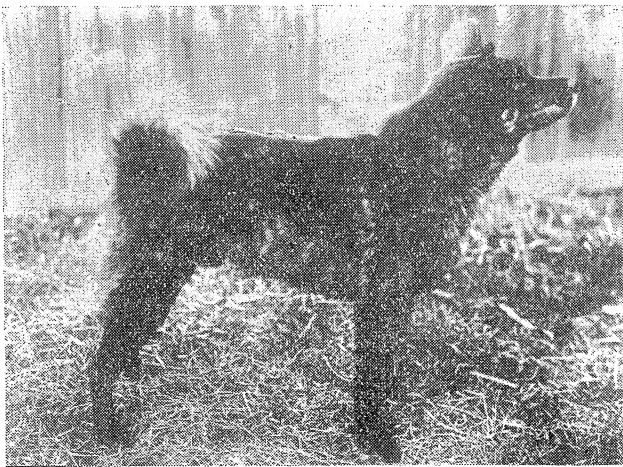
越の犬

り、直毛豊かにして適度に太く、長さ飛節端に達するのがよいのであつて、力強く右か左に卷く卷尾や差尾を貴び、特に左卷尾の犬は度胸がよく、差尾の犬は輕快で持久力に富み獸獵に最適といはれる。差尾の多い甲斐犬が耐久力テストにシエフアードその他の犬を遙かに凌駕して優秀な成績を収めたのもこの事實を裏書するやうに思はれる。又肛門の大きい犬は勇悍であると云はれる。表毛は粗剛にして真直、綿毛の多いのがよろこばれる。毛色には黒、赤、白、赤胡麻、黒胡麻、灰胡麻等色々あつて、甲斐犬は黒虎から赤虎に至る色々の程度の虎斑を呈する。一般に濃厚な色素が殖えるといはゆる黒化現象が起り黒色の犬が現はれるが、之に反して色素の成生が弱まると黄化現象、更に進んでは白化現象が起り、灰色や淡赤褐色のもののみならず遂には白色のものも現はれるのである。この色素の退化は普通四肢の下部から始まり次第に胴に擴がり、と

きに斑紋性を呈することもあつて、色素の退化が殆ど全身に行き亘つても耳の先端などに本來の色彩が執拗に残るものである。而して白色の犬は有色のものに比して見るからに溫順で氣魄に乏しい感を與へる。

犬はその經濟的意義よりも寧ろ人間が獲得せる最も古い家畜といふ譯で吾々には最も大切なものであるが、それは本能的に人懐つこくて石器時代以來連綿として今日に傳り、色々の種類を分化してゐる。犬は古くから人間の家族仲間として運搬や狩獵に重要な役割を演じ、その毛皮は衣服に、肉は食用に利用せられ、或は又闘技用に、番用に、愛玩用に、その用途は極めて廣汎に亘り、今尙北方民族には缺くべからざるものであり、又未開のセイロン島のヴェツタ族には唯一の馴致動物として嫁入仕度にはなくてはならぬものになつてゐる。

ブレイムが嘗て犬は親切に良く飼養し、よく理解して馴せば



甲斐の犬

馴すほど解りがよい優良なものとなり、よく飼主を反映すると云つて居るが、これは至言であつて、犬の本能は實際調教によつてある程度に變へられるもので、軍用犬、警察犬等色々の目的に仕立てられた犬がある。日本犬は昔は主に闘技用、番用、愛玩用、狩獵用に飼養されたもので、普通一代一主といつて、主人には絶対に忠實で、主人の危急に際しては身を挺して外敵に當り、死もまた辭さないものといふことになつてゐる。小學校の教材になつてゐる秋田犬の忠犬ハチ公が果して今は亡き主人を迎へに澁谷の驛へ日參したものがどうかは判定の限りではないが、主人の危難を救ひ、又救はんとした忠犬に關する話は昔からいくつも傳つてゐる。

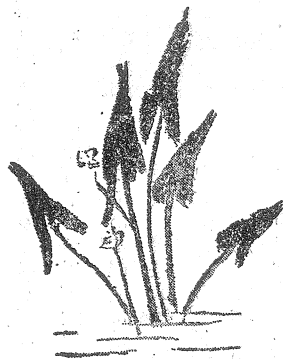
時は弘化二年十二月十六日のこと、土佐國安藝郡井口村一ノ宮の百姓横田三平の子息二人が飼つてゐる赤犬をつれて妙見山へと柴採りに登り、下が絶壁になつてゐる大坂の急坂へ差かかつたとき、急

に足を迂らして轉び落ちた弟の乙次をその犬が突差に襟元を銜へて押へんとしたが、諸共に轉がり、危機一髪斷崖に迫つたとき偶然犬の體が蹣躑の切株に引かかり負傷しながらも襟元をはなさなかつたのである。そこへ兄の寅次が繋ぎ合せた一條の繩を木の根に縛りつけ、それを傳つて遂に弟と犬とを助け、兄弟互に抱き合ひ涙を流して喜び、犬の頭を撫でながら遙かに妙見様を拜み家へ歸つたさうである。このことが早くも家老の後藤氏に聞えると、家老が態々三平を訪ねてその犬の譲り渡しを所望したが、三平は恩ある犬を手離すに忍びず斷つたところが、一ヶ月交代に飼はして貰ひたいといつて、犬には年扶持米が與へられることになつたのである。それから六年後の嘉永三年二月三十日遂にその犬が死亡したので三平はわが家の庭へ懇るに葬り、家老は儒者の小牧徳方に碑文を撰ばせて一基を建てたが、その義狗之墓が今でも岩崎彌太郎の舊邸に隣接した畑の一隅に立派に遺つてゐる。

又昔秋田の鹿角郡草木に住み、先祖の功により領主から天下御免の證文を頂戴せる獵師又鬼左多六が二月のある朝雪の中をカンヂキを踏みしめ白犬を連れて獵に出かけたが、生憎その日は獲物がなく、日暮れ近くになつてやつと一頭のカモシカを認め、それを追撃して他領三戸に於て漸く射止めたのである。そ

の日は山小屋に泊り、翌朝歸途につかんとするところを數名の土地の獵師に咎められ、遂に捕はれの身となつて了つた。不覺にも天下御免の證文を忘れたので、白犬はそれを覺つたやうに物狂はしげに再度草木に往復してやつとそれを持つて來たときは恨めしくも主人は既に刑場の露と消えた後であつた。その後白犬は幾日幾夜も山中で咆哮を續けてゐたが、間もなくこの地方に地震が起り左多六を殺した人々は何れも死んで了つたさうである。それから妻は白犬をつれて流浪の身となり遂に葛原部落に到つて一生を終つたさうである。村人がいたくこれを哀み建立したのが今尙秋田縣大館近くの十二所町字葛原の山中に遺つてゐる老犬神社である。

なほその他忠犬、犬の伊勢參り等色々面白い話はあるが、茲には割愛して筆を擱くことにしたい。



五

問 國民體育館が出来るさうですが、何時何處に出来て如何に利用せられるのですか。

答

我邦一般民衆體育の普及と合理的な發達を企圖して、昭和十年度に中央國民體育館建設費として、拾五萬圓の經費が帝國議會に於て決定せられました。

其の後、體育館の内容に就ては本省體育課に於て建築上の事に就ては大藏省營繕管財局に於て、夫々研究を重ね、本年十月下旬迄に之が完成を見ることになつてゐます。その内容は左記の通りです。

記

一、名稱 中央國民體育館並水泳場

二、場所 神田區一ツ橋 東京商科大學跡

三、中央國民體育館

(1)大運動室 約二五二坪

體操・武道・籠排球各種球技並遊戲等の諸設備をなす。

(2)小運動室 約三五坪

體操並練習設備をなす。

(3)附屬室

附屬室は二階建とし、貴賓室、同休憩室、事務室、監督並指導者室、醫務室、男女更衣室、運動器具室、物置等の諸室を設ける。

(4)舊建物(約三五〇坪)の利用
講堂、會議室、標本室、讀書室、醫療體

四、水泳場(屋外)

操室、選手室、食堂、使丁室等を設備利用す。
二五米に一三米のプールにして、最深一米三〇 最深三米五〇。
三米跳込臺を設備し、夜間使用の設備をなす。

六

問 今日史蹟名勝天然紀念物は文部大臣が指定して居られますのに保存法第一條には「内務大臣指定ス」となつて居りますがどう云ふ譯でせうか。

答

法文には「内務大臣」となつて居りますが夫れは主務大臣と解釋すべきであります即ち官制に依つて主管事務が定りますと其の事務を主管する所の主務長官が夫れに付ての責任者であり又權限を持つて居る譯であります當時の主務長官が偶々内務大臣でありましたので夫れを書き現はしたに過ぎません近頃の法律は國立公園法第一條の如く「主務大臣」と云ふ文字であらばして居ります。

七

問 史蹟名勝天然紀念物の場合の「記」は言扁ですか糸扁ですか。

答 「記」と「記」との區別に付ては議論もありませんが史蹟名勝天然紀念物保存法で糸扁でありますから「紀」をお用ひ下さい。

定 價	
一 部	金 貳 拾 錢
一ヶ月	金 六 拾 錢
六ヶ月	金 參 圓 六 拾 錢
一ケ年	金 七 圓 貳 拾 錢

料 告 廣	
臨時増刊又は増大號發行の節は別に代金申受けます	●御注文は總て前金に願ひます前金切れの場合は送本いたしません
廣告料は一頁五拾圓二分ノ一頁參拾圓、四分ノ一頁拾八圓とす	掲載頁數は壹部毎に拾參頁を越ゆることを得ず
右文部省の御指定によつたものです	

昭和十一年六月二十八日印刷納本 (第五五四號)
昭和十一年七月一日發行

發行所 帝國地方行政學會
東京市京橋區銀座西七丁目一番地
電話 銀座六六〇、六六一、六六二、六六三番
振替 附金口座 東京 十三番

發行所 大谷仁兵衛
東京市豊島區磯子町字扇平六百七十番地
印刷者 大庭公平
東京市牛込區西五軒町五十二番地
印刷所 行政學會印刷所第二工場
電話 牛込二九六番